

講義名	卒業研究
講義コード	14067
担当教員	西井 和夫
開講期・曜日・時限	通年 月曜日 4時限
備考	

ゼミ
地域まちづくり・交通・観光
学部
経済学部
学科
経済学科
演習名
地域まちづくり・交通・観光

概要説明
<p>都市・交通・観光やその課題への関心「心」を持ち、地域社会の実態・現象を把握する観察・分析能力「技」を育て、最終的に、より良い地域社会構築に参画し、また積極的に活躍できる意欲(自信)・元気の持続力「体」を習得します。そして、卒業研究を通して、自らが設定した研究テーマに計画的に取組み、データ分析や考察のとりまとめを行うことにより、自らの「考える力」を身に付け、自己に対する自信を身につけます。</p>

学位
工学博士（京都大学）

教員よりの要望
ゼミで取扱うテーマも地域まちづくり・交通・観光と多彩なので、ゼミの構成メンバーも、男女割合、体育会系・文系サークル所属・非所属割合、出身地（都会・田舎）割合など、個性豊かな集団で、しかも一体的（仲の良い）チームができることが理想である。そのために、明朗快活（明るく元気で）、ヤル気がある（意欲的に）、ゼミ活動に積極的に参画できる学生を求める。

教員英字氏名
KAZUO NISHII

研究室
Rm 2609（教授室） Rm 2303（ゼミ室）

最終学歴
1976.3 京都大学工学部交通土木工学科 卒業（工学士）

主な研究活動・社会活動・研究業績
<p>所属学会での研究論文発表・学会セッションのオーガナイザー 国・高速道路会社・府県・市町における研究員会や審議会委員としての参画 自らが主宰する研究会（AMIA研究会）の活動（セミナー等） 最近の研究業績： 国際会議での研究発表(ERSA(欧州地域科学会議)18'17'16'14'・13'09')、IATBR18'15'、ITS国際会議18'15' 国際セミナー主催および研究発表（観光・都市交通政策に関する中日セミナー18'まで9回） 所属学会での研究論文発表および論文集への投稿発刊 多数</p>

主な卒業論文のタイトル
<p>2018年度： シャンシャンはなぜレンタルバンドか？ 高齢者ドライバーに対する交通事故防止・安全対策 2016年度： 西宮市の地域活性化と地域資源としての甲子園球場 人口減少下の西脇市の地域再生に関する考察 2016年度： 三木市の地域活性化策に関する考察 2015年度： バスケケットボールのプロリーグ化の諸問題に関する考察 世界遺産「姫路城」と地域振興策を考える 2014年度： 西宮市における交通事故発生状況と今後の交通安全対策 高速道路の休憩施設の利活用促進策：NEXCO西日本山陽道を例として 2013年度： 高速道路のサービスエリアの利用状況調査とその分析 地域資源を活かした地域活性化の基礎分析：三木市を例として</p>

趣味・特技
ゴルフ・テニス・フットサル（と言いたい、最近は無沙汰、道具がカビ臭い）

所属

所属学会
土木学会 交通工学研究会 日本都市計画学会 日本観光研究学会

専門分野
<p>地域まちづくり関連分野：都市計画、地域計画、PI、公共政策 交通関連分野：交通工学、交通計画、都市交通政策、交通行動分析 観光関連分野：観光まちづくり、観光マーケティング、エリア・マネジメント</p>

選考方法
<p>教員からの要望で示したように、明朗快活（明るく元気で）、ヤル気がある（意欲的に）、ゼミ活動に積極的に参画できる学生を求める。 学部の専門分野の「学び」（基礎知識の習得を通して、理解力・思考力・分析力を身につける）にチャレンジして本当の大学生になりたい学生 成績は問わない。しかし、ゼミ活動よりもバイトを優先する学生は要らない エントリーシートや個別ガイダンス等で明朗快活・ヤル気・ゼミ活動への意欲の3点を確認して選考します。</p>

担当科目
<p>前期：都市・地域計画、統計データ解析、地域まちづくり特別研究I、経済学と社会（教養基礎） 後期：地域再生論、公共政策論、地域観光政策、都市情報解析、災害と流通（教養総合）</p>

備考

評価方法
卒業研究の評価は、研究テーマへの取組み状況を踏まえて、最終提出卒業論文に基づき評価する。したがって、計画的に取組むことが求められる。